

八幡平市地球温暖化対策実行計画策定に係る
市民・事業者アンケート調査

報 告 書

平成30年3月

(1) 調査目的

八幡平市地球温暖化対策実行計画の策定に向けて、市民や事業者の温暖化対策に関する取組み状況や意向等を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

(2) 調査概要

アンケート調査概要

項目	市民アンケート	事業者アンケート
調査対象	18歳以上の市民(無作為抽出)	市内にある事業所(無作為抽出)
配布数	1,000通(1,000人)	100通(100事業所)
回収数	290通	54通
回収率	29.0%	54.0%
調査方法	郵送により配布・回収	
実施期間	平成29年8月2日～平成29年8月17日(15日間)	
実施主体	八幡平市市民課環境係	

(3) 設問概要

市民アンケート

- あなた自身の地球温暖化問題に対する関心や取組みについて
- 地球温暖化防止に関する八幡平市の取組みについて
- あなたのことについて(属性に関する事項)

事業者アンケート

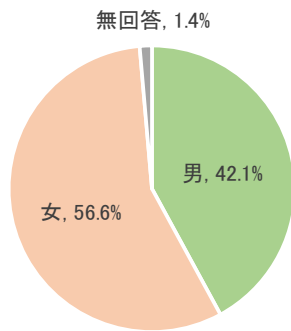
- 事業所における地球温暖化対策の取組みについて
- 地球温暖化防止に関する八幡平市の取組みについて
- 事業所のことについて(属性に関する事項)

(3) アンケート調査結果

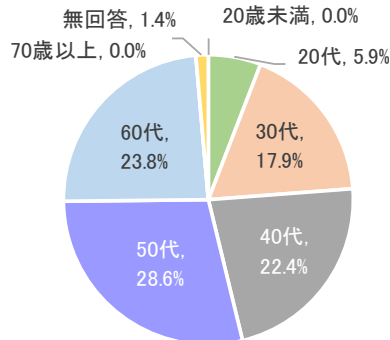
ア 市民アンケート

① アンケート調査における回答者の属性

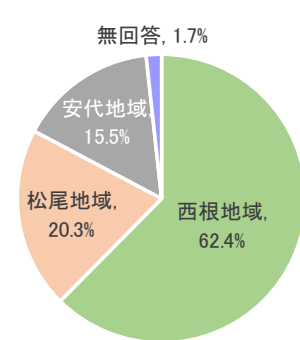
【性別】 n=286



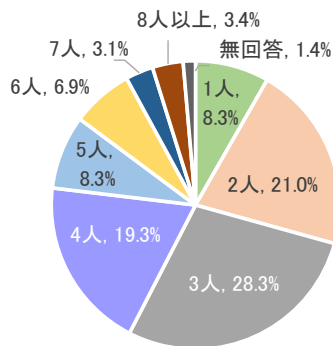
【年齢】 n=286



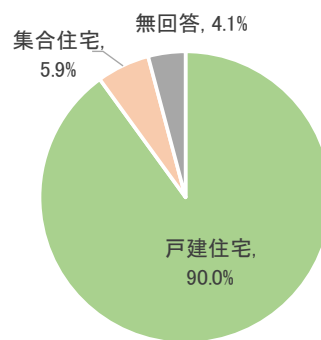
【居住地域】 n=285



【世帯人数】 n=286



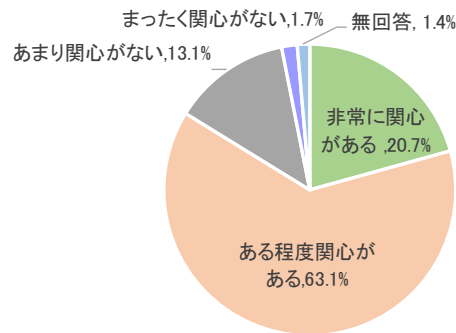
【住居形態】 n=278



*戸建住宅の平均築年数:29.8年

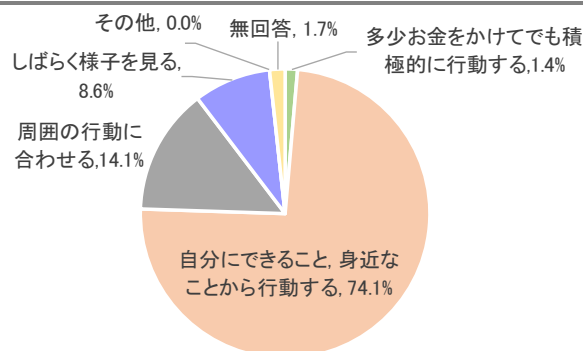
② 地球温暖化問題に対する関心や取り組みについて

問1 あなたは地球温暖化問題に関心をお持ちですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。



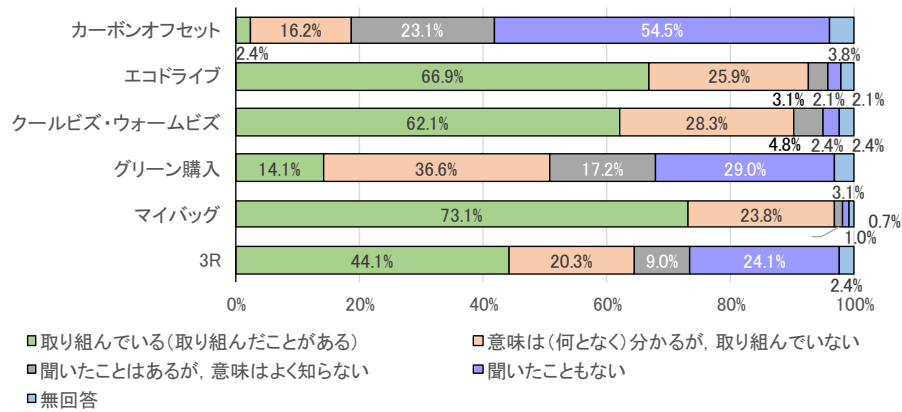
n=286

問2 あなた自身の地球温暖化防止に向けた行動について、あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

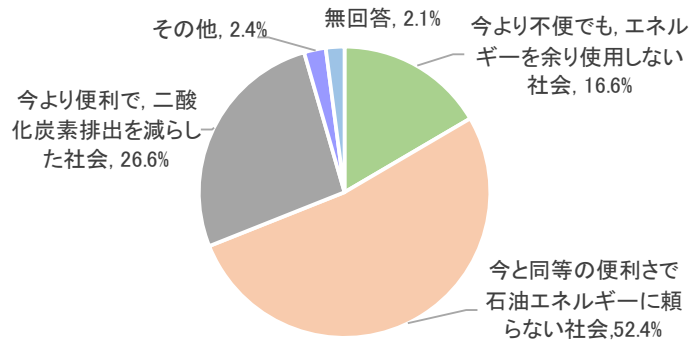


n=285

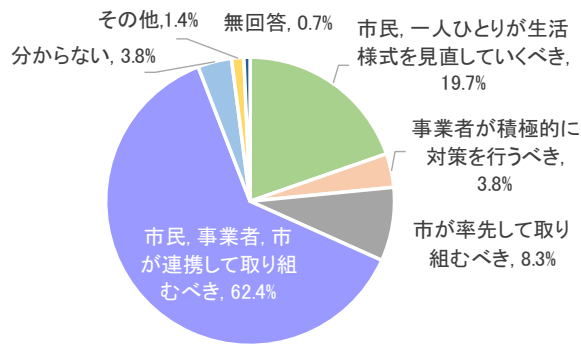
問3 以下は、最近よく使用されている地球温暖化防止の取組みに関する用語です。それぞれの言葉についてあてはまる番号に○を付けてください。



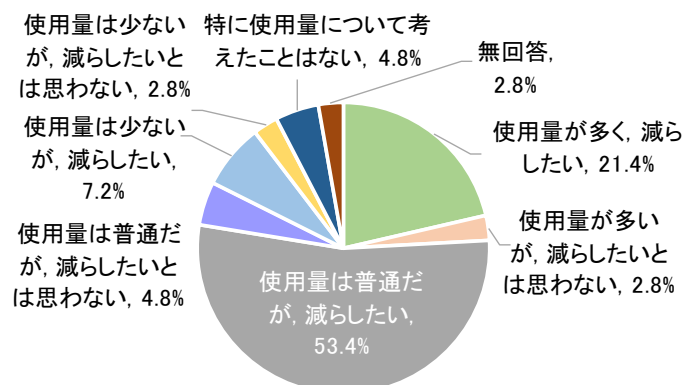
問4 地球温暖化を防ぐために、目指すべき二酸化炭素(CO2)をあまり排出しない社会とは、どのようなものだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○を付けてください。



問5 市内全域が一体となって地球温暖化防止に向けた行動を進めるために、特に重要と考えるものを1つ選び、番号に○を付けてください。



問6 あなたは御自宅での電気・ガス・水道・車のガソリン等のエネルギー使用量についてどのように考えていますか。次の中からあなたの考えに一番近いものを1つ選び、番号に○を付けてください。また、「減らしたいとは思わない」を選ばれた方は、減らしたいとは思わない理由をお書きください。



「使用量は多いと思うが、努力してまで減らしたいとは思わない」理由記載事項

- ・お金の余裕がない。
- ・家族の生活時間が違うため。
- ・高齢者に自由に対処している。
- ・生産性が低下するから(農業)。

「使用量は特に多くもなく普通だと思うので、特に減らしたいとは思わない」理由記載事項

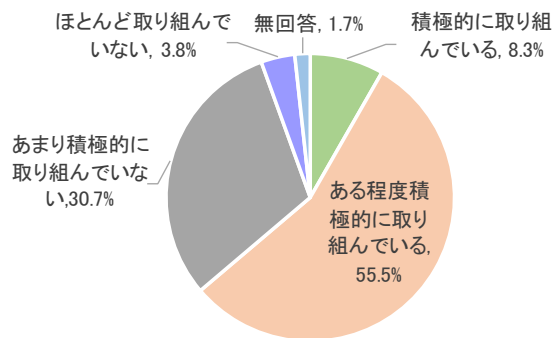
- ・生活に車が必須でこれ以上減らすに減らせない。
- ・エネルギーに合わせた設備を設置し普通に使用しているため特に減らしたいと思わない。
- ・減らすことでこまる事業者ある。
- ・普通なのでこれ以上ムリ。
- ・無駄使いをしているわけではないから。
- ・今の生活を維持したい。

「使用量は少ないと思うので、これ以上減らしたいとは思わない」理由記載事項

- ・生活できません(ギリギリです)。
- ・少ないと思うので、これ以上減らすことは現在は無理。
- ・十分減らす努力をしているので、これ以上は困難だと思う。
- ・無駄な使用を控えている。
- ・他と比べ使用量は少ないと思うから。
- ・現在の使用量が少ないから。

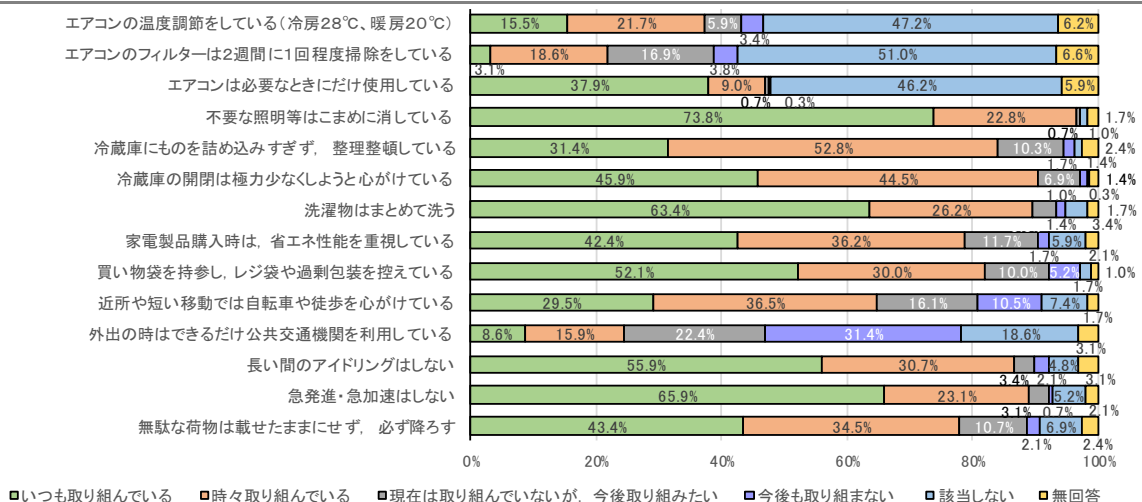
**「減らしたいとは思わない」と回答した方のみを対象

問7 家庭での省エネルギーへの取組みについて、あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。



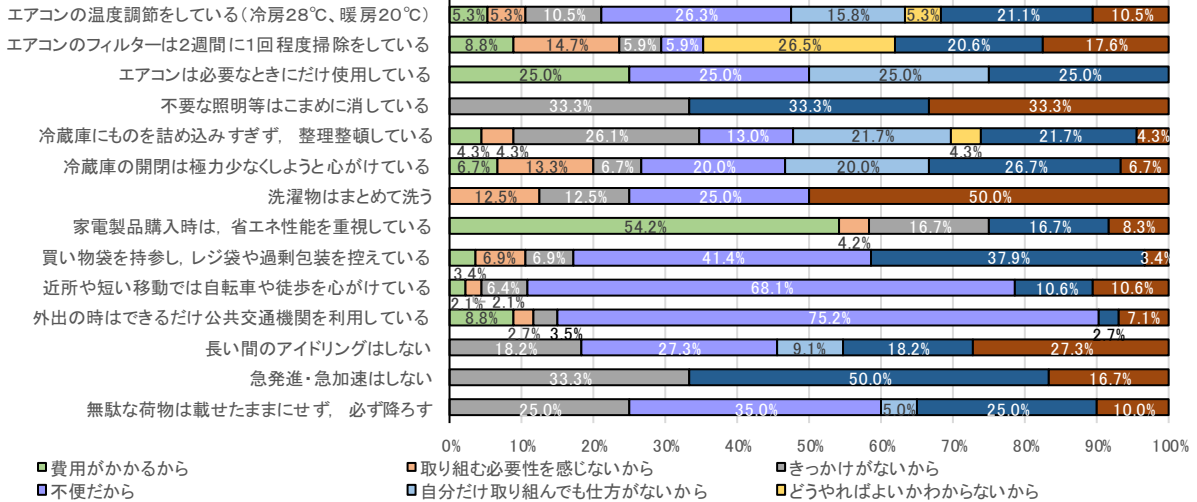
n=285

問8 以下は日常生活でできる地球温暖化防止の取組みです。各取組みについて「現在の取組み状況」にあてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○を付けてください。また、「現在は取り組んでいないが、今後取組みたい」、「今後も取り組まない」とお答えいただいた理由として当てはまるものを下欄から1つ選び、御記入ください。

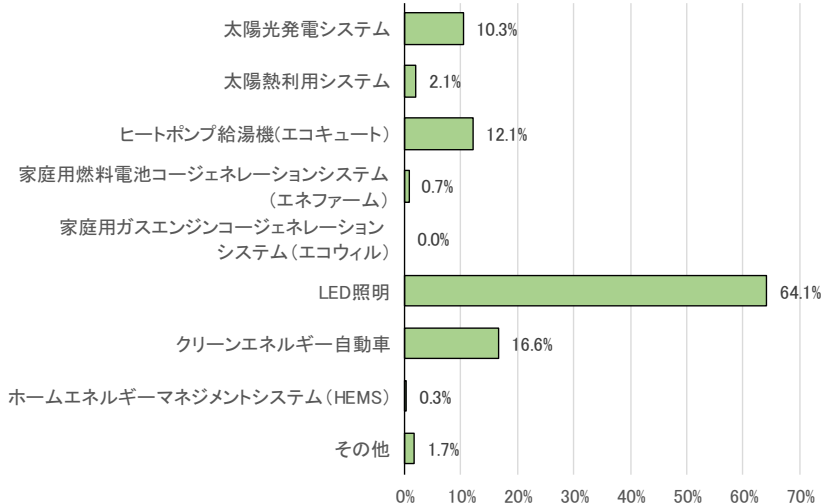


n=290

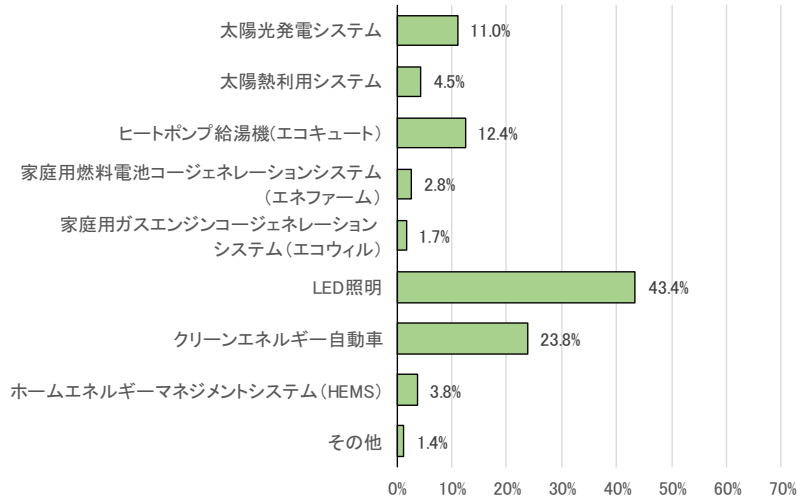
【現在取り組んでいない、今後も取り組まないと回答した理由】



問9 以下は「新エネルギー」や「革新的なエネルギー高度利用技術」と呼ばれているものなどです。あなたの家庭で設置・導入しているものがありましたら、あてはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。

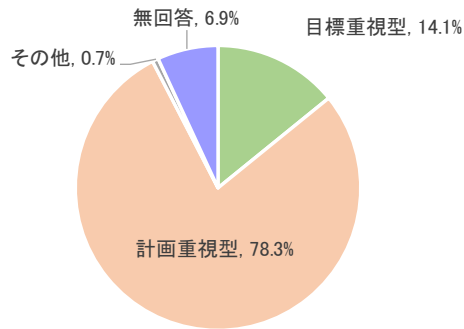


問10 「新エネルギー」や「革新的なエネルギー高度利用技術」の中で、あなたの家庭で設置・導入を計画している(または設置・導入をしたいと考えている)ものがありましたら、あてはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。



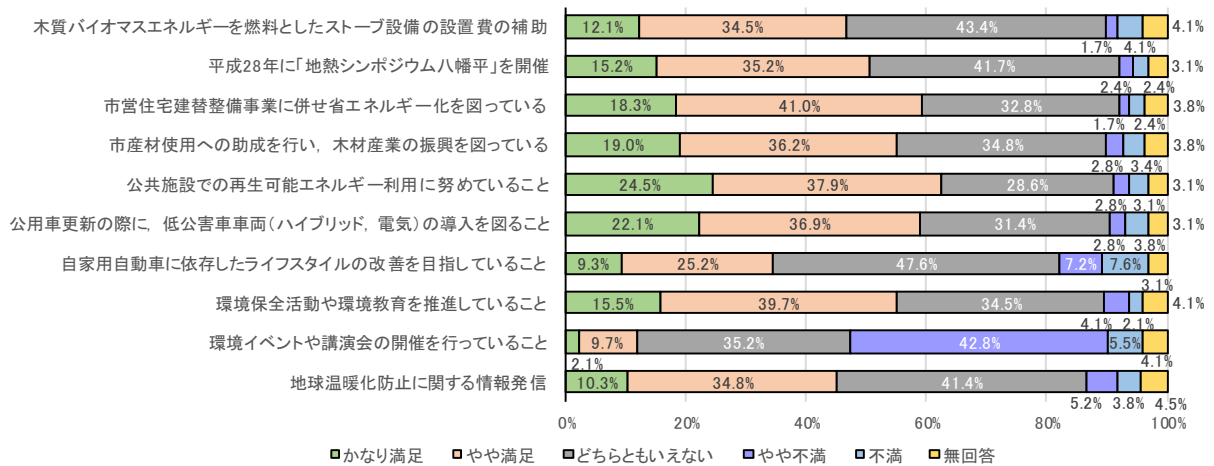
③地球温暖化防止に関する八幡平市の取組みについて

問11 今後、市が市内から排出される温室効果ガスの削減目標を定めて具体的に行動していこうとする場合、どのような目標設定のあり方が望ましいと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○を付けてください。



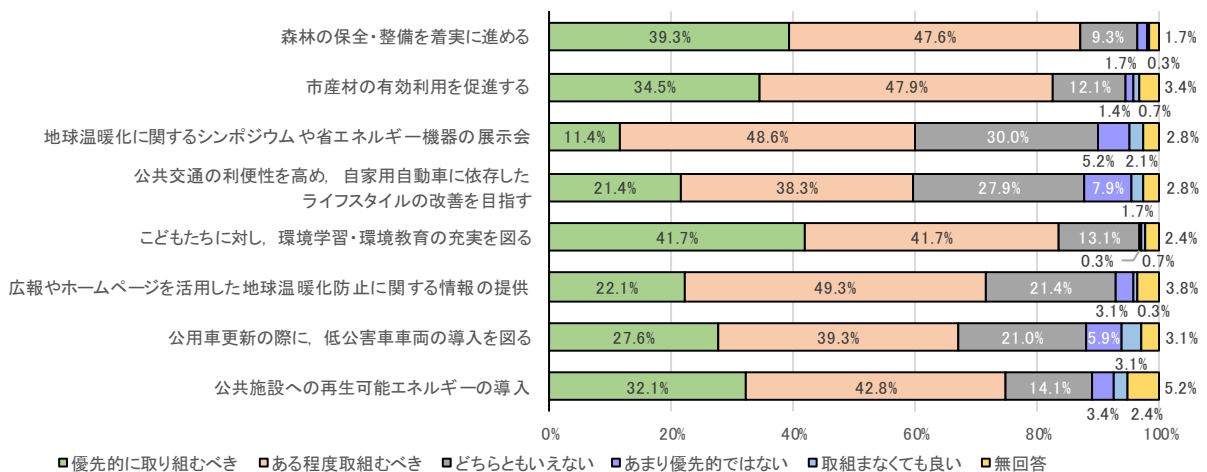
n=270

問12 八幡平市が行っている地球温暖化防止に関連した取組みについてどのくらい満足していますか。それぞれの取組みについてあてはまる番号に○を付けてください。

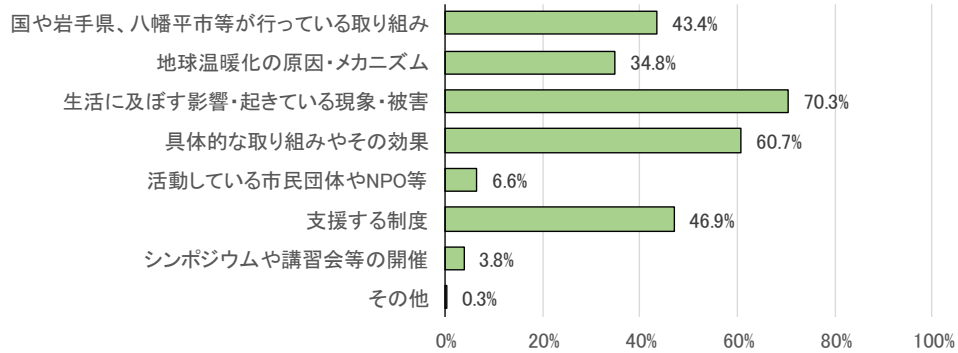


n=290

問13 地球温暖化防止のために、市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。それぞれの取組みについてあてはまる番号に○を付けてください。



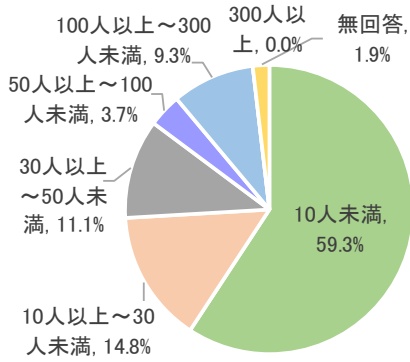
問14 あなたが今後、地球温暖化防止に関する取組みを(さらに)積極的に進めるためには、どのような情報があればいいと思いますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。



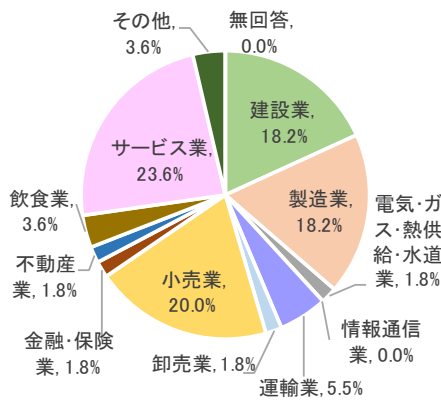
イ 事業者アンケート

①アンケート調査における事業所の属性

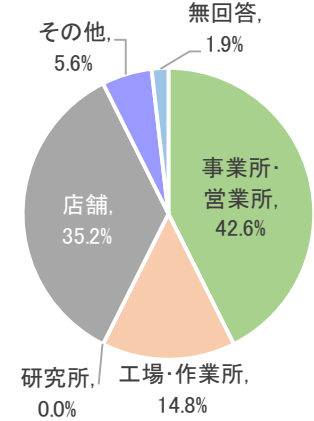
【従業員数】 n=53



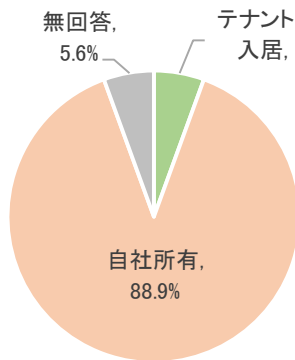
【業種】 n=55 ※複数回答含む



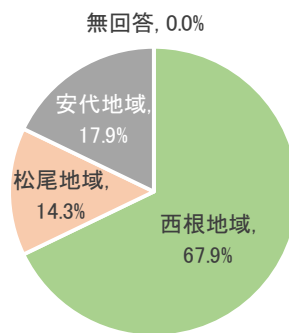
【事業所形態】 n=53



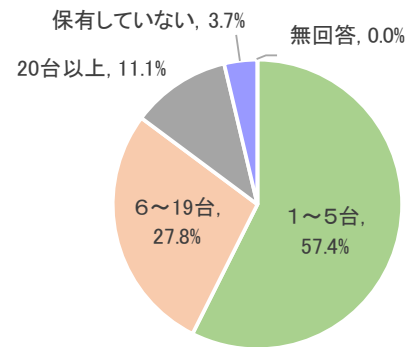
【入居形態】 n=51



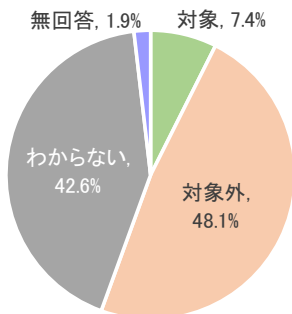
【所在地】 n=56 ※複数回答含む



【業務用自動車の保有台数(概数)】 n=54

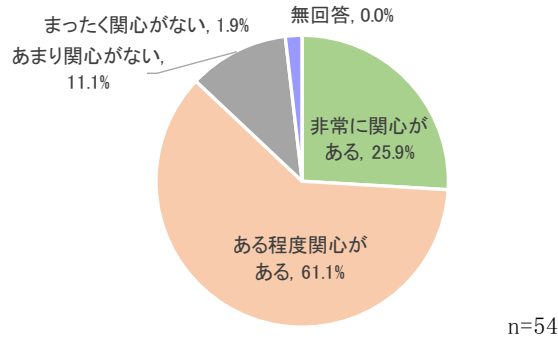


【省エネ法の対象の有無】 n=53

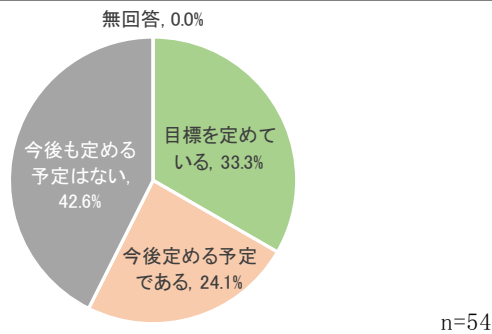


②地球温暖化問題に対する関心や取組みについて

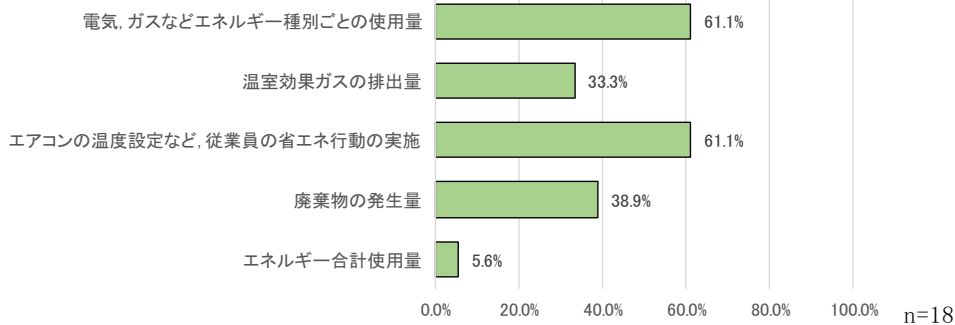
問1 貴事業所は地球温暖化問題に関心をお持ちですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。



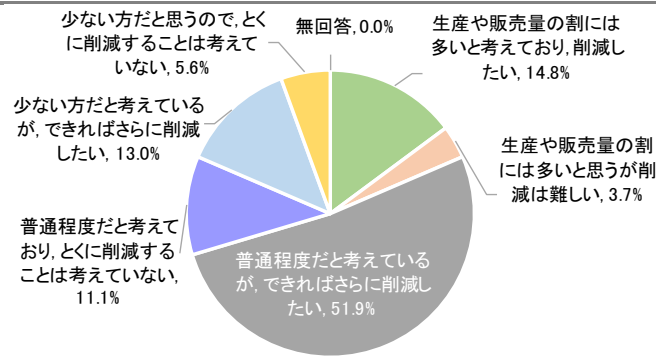
問2 貴事業所では、温室効果ガスやエネルギー、廃棄物の削減などについて、目標を定めていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。



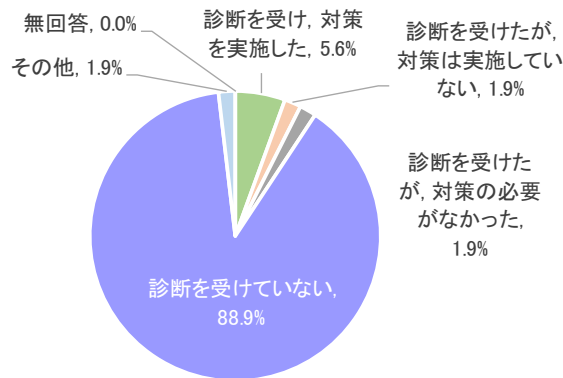
問3 上記問2で「目標を定めている」とお答えの方にお聞きします。目標の内容について、あてはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。



問4 貴事業所では、使用するエネルギー消費量(電気、ガス、灯油、重油)について、どのようにお考えですか。あてはまる番号を1つ選び、番号に○を付けてください。

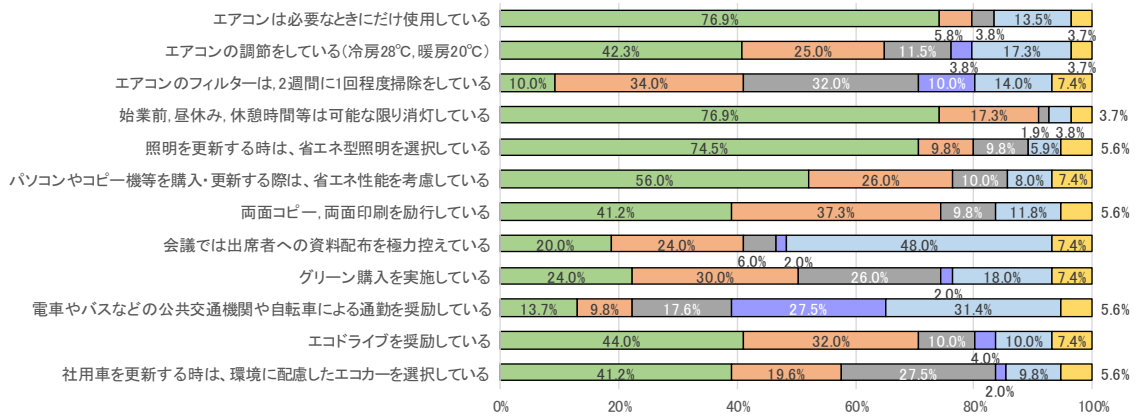


問5 貴事業所では、省エネルギー診断を受けたことがありますか。また、診断の結果を踏まえて対策を実施しましたか。あてはまる番号を1つ選び、番号に○を付けてください。



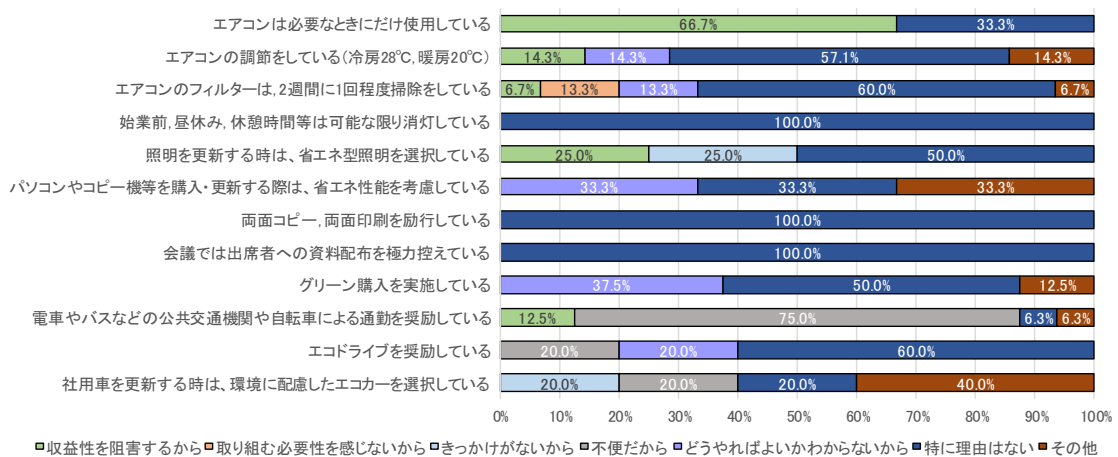
n=54

問6 以下は事業活動の中でできる地球温暖化防止の取組みです。各取組みについて「現在の取組み状況」にあてはまるものをそれぞれ1つ選び、○を付けてください。また、「現在は取り組んでいないが、今後取り組みたい」、「今後も取り組まない」とお答えいただいた理由として当てはまるものを下欄から1つ選び、最右枠に御記入ください。

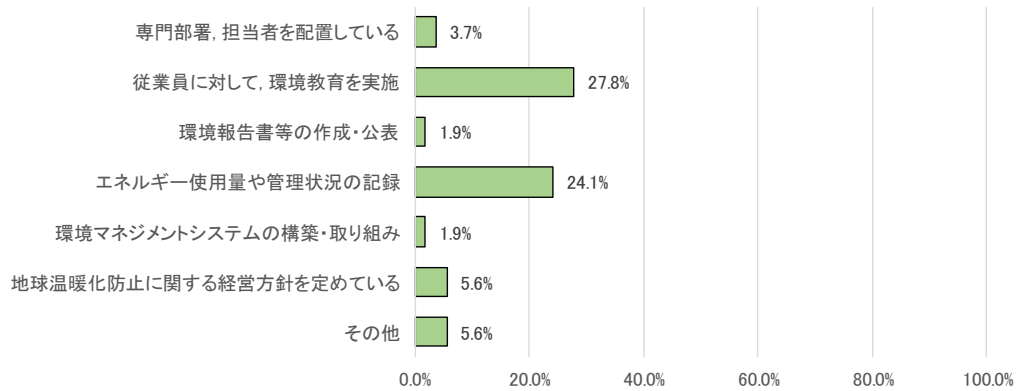


n=54

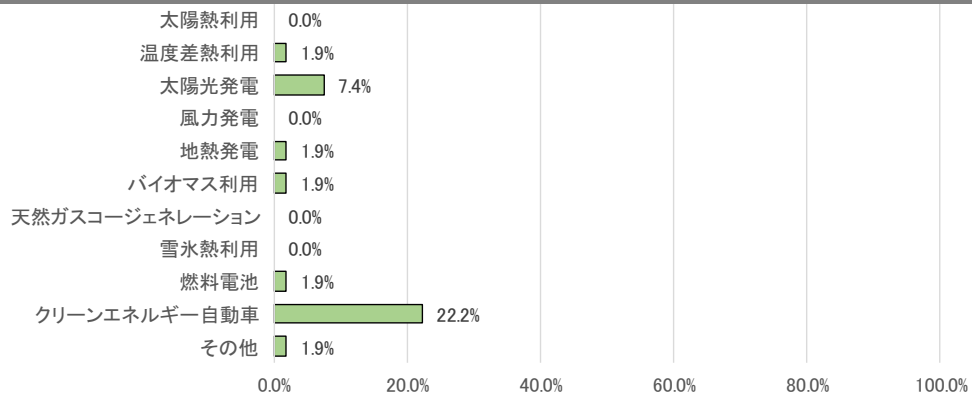
【現在取り組んでいない、今後も取り組まないと回答した理由】



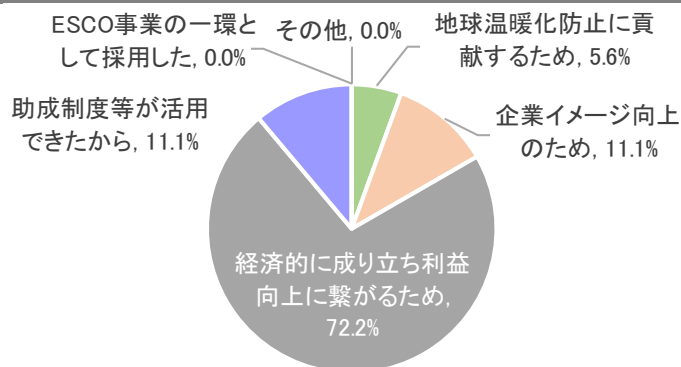
問7 貴事業所が実施している温暖化対策に関する社内の取り組み体制等について、あてはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。



問8 以下は「新エネルギー」や「革新的なエネルギー高度利用技術」と呼ばれているものなどです。貴事業所で採用している(または採用を予定・計画している)ものがありましたら、あてはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。



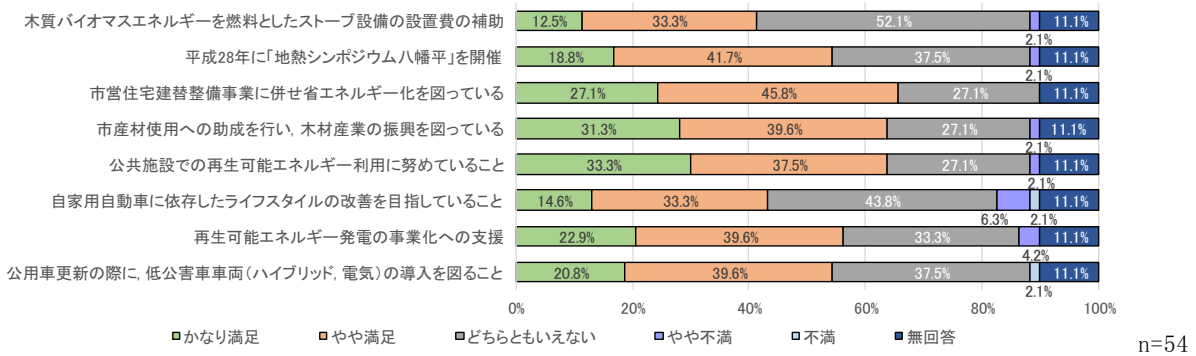
問9 問8で採用しているものがある(または採用を予定・計画している)方に伺います。採用した動機について、あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。



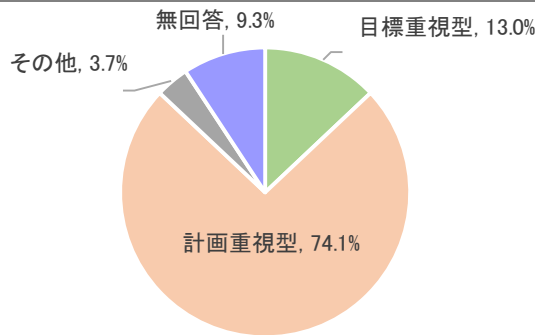
n=18

③地球温暖化防止に関する八幡平市の取組みについて

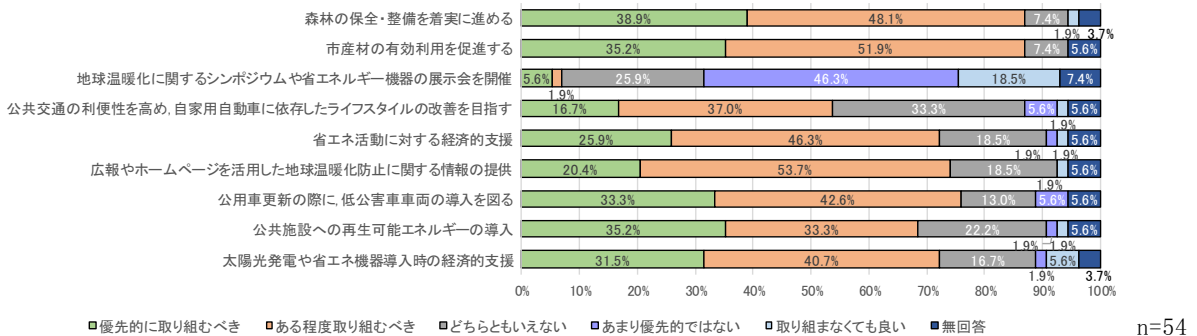
問10 八幡平市が行っている地球温暖化防止に関連した取組みについてどのくらい満足していますか。それぞれの取組みについてあてはまる番号に○を付けてください。



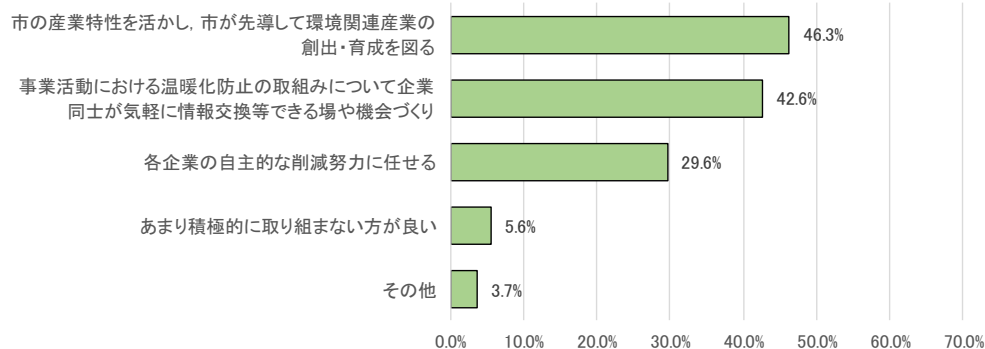
問11 今後、八幡平市が市内から排出される温室効果ガスの削減目標を定めて具体的に行動していこうとする場合、どのような目標設定のあり方が望ましいと思いますか。貴事業所の考えに近いものを1つ選び、番号に○を付けてください。



問12 貴事業所を含む八幡平市内の多くの事業所が、温暖化防止のための行動を現状よりもさらに積極的に行うようにするために、市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。それぞれの取組みについてあてはまる番号に○を付けてください



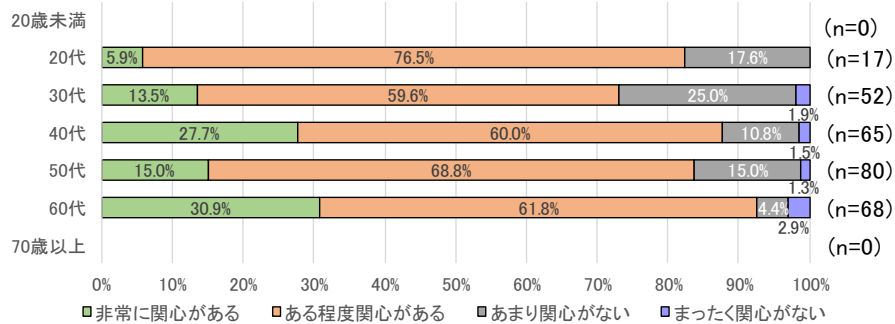
問13 八幡平市が持続可能な低炭素型のまちづくりを進めようとしたとき、八幡平市に対してどのような方向性で産業振興を進めてもらいたいですか。あなたの考えに近いものを2つまで選び、番号に○を付けてください。



ウ クロス集計結果(市民アンケート)

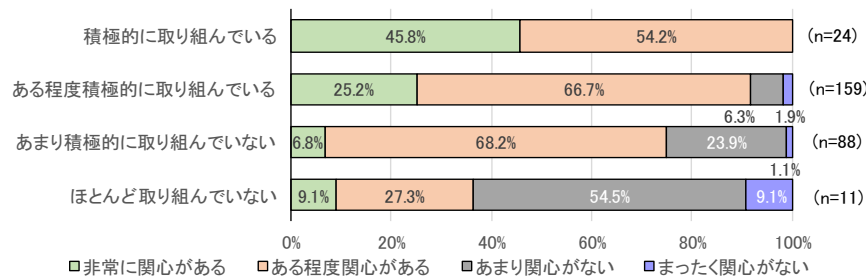
①年代ごとの地球温暖化問題への関心

年代ごとの地球温暖化問題への関心は、回答の無い 20 歳未満及び 70 歳以上を除くと、「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」を合わせた割合は、60 代が 92.7%と最も高く、次いで 40 代の 87.7%となっている。



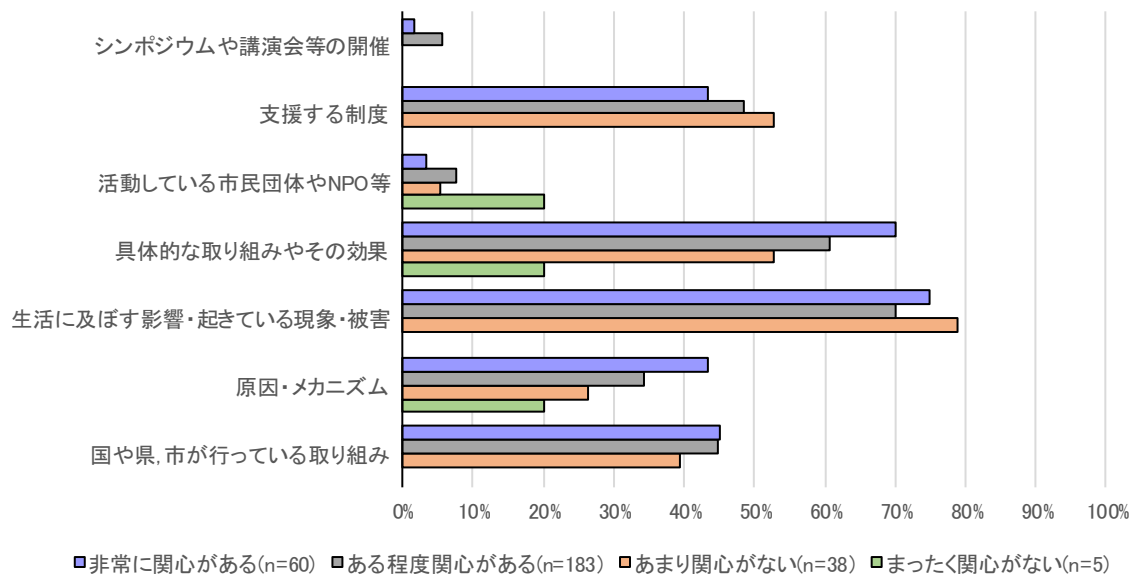
②地球温暖化問題への関心と省エネルギーへの取組み

地球温暖化問題への関心と省エネルギーへの取組みは、関心があるほど省エネルギーへの取組みを行っており、ほとんど取り組んでいない回答者の関心は低い結果となっている。



③地球温暖化問題への関心と地球温暖化防止に関する取組みを進めるための情報

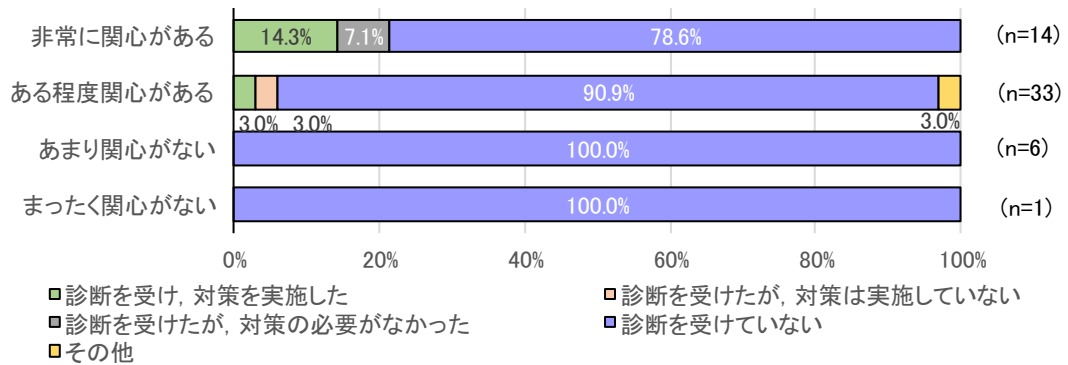
地球温暖化問題への関心と地球温暖化防止に関する取組みを進めるための情報は、「まったく関心がない」を除くと生活に及ぼす影響・起きている現象・被害についての情報の割合が最も高くなっている。



エ クロス集計結果(事業者アンケート)

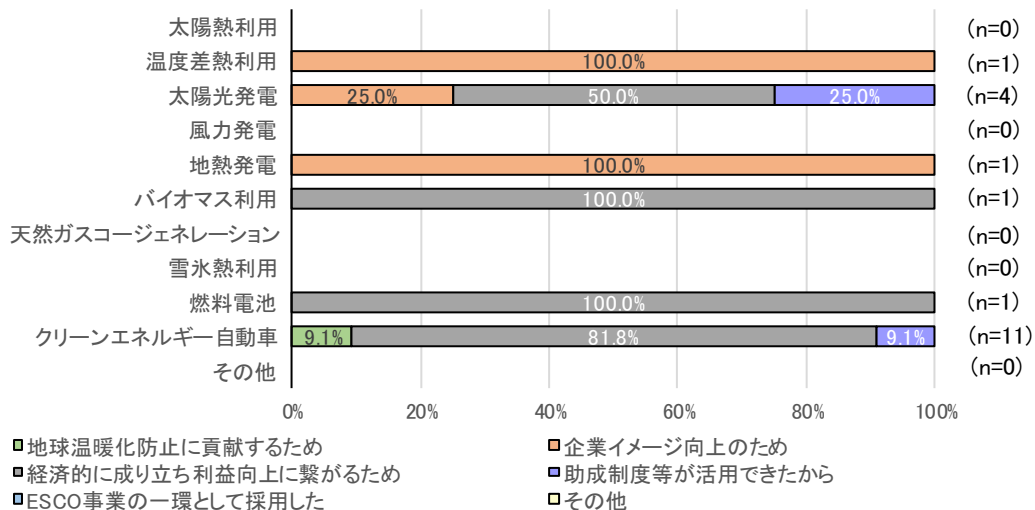
①地球温暖化問題への関心と省エネルギー診断の受診状況

地球温暖化問題への関心と省エネルギー診断の受診と対策の実施状況は、省エネルギー診断を受けた事業者が少ないものの、受診した事業者は、「非常に興味がある」、「ある程度興味がある」と回答しており、関心の高さが省エネルギー診断の受診や対策の実施に繋がっていると推察される。



②「新エネルギー」や「革新的なエネルギー高度利用技術」を採用した動機

「新エネルギー」や「革新的なエネルギー高度利用技術」を採用した動機は、「企業イメージ向上のため」、「経済的に成り立ち利益向上に繋がるため」の割合が高くなっており、新エネルギーや革新的なエネルギーの利用に関する重要性や経済性についての情報の提供が有効であると推察される。



オ 施策の「満足度」と「優先度」

市民アンケート及び事業者アンケートの集計結果から今後の具体的な対策や施策の検討における参考とするために、本市で実施している取組みについての満足の程度と優先的に取り組むべき事項についての回答(5段階)を数値化し、クロス集計を行った。

なお、集計結果のうち「優先度」が高く「満足度」が低い施策は、今後取り組む施策の検討事項として抽出し、市民・事業者の意向を反映した施策検討を行った。

施策に対する「満足度」と「優先度」の数値

満足度	優先度	数値
かなり満足	優先的に取り組むべき	100
やや満足	ある程度取り組むべき	75
どちらともいえない	どちらともいえない	50
やや不満	あまり優先的ではない	25
不満	取り組まなくても良い	0

※満足度に関する設問：本市が行っている地球温暖化防止に関連した取組みについてどのくらい満足していますか。

優先度に関する設問：温暖化防止のための行動を現状よりも積極的に行うようにするために、市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。

※回答の数値化は、以下のように行いました。

$\Sigma(\text{施策の各回答} \times 5 \text{段階の回答ごとの数値}) / \text{回答数}$

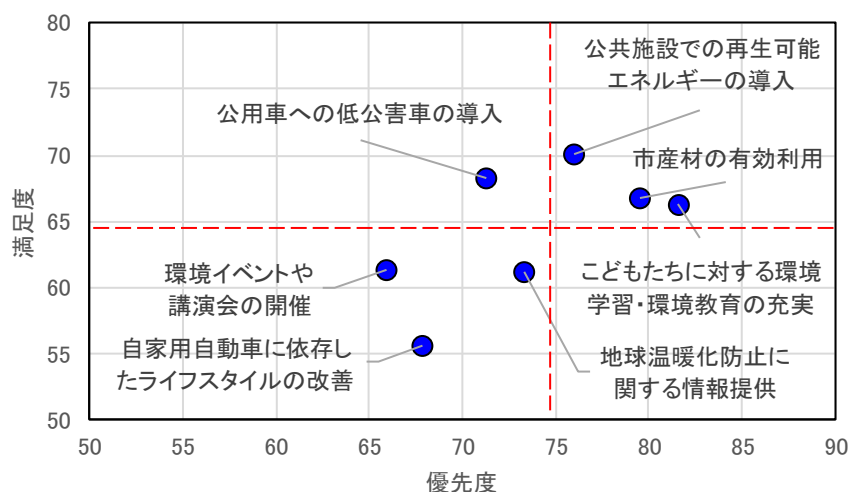
① 市民アンケート

施策ごとの回答を数値化した結果は、下図のとおりとなっている。なお、図内の赤線は、全設問の回答を数値化したものの平均値を示し、「優先度」の平均は 74.6、「満足度」の平均は 64.6 となっている。

結果は、「公共施設での再生可能エネルギーの導入」、「市産材の有効利用」、「子どもたちに対する環境学習・環境教育の充実」に関する事項が、「満足度」と「優先度」ともに高い値を示しており、これまでの取組みの結果が表れていると考えられる。一方、「地球温暖化防止に関する情報提供」は、「優先度」は平均的であるものの「満足度」が低くなっている。

以上のことより、施策の検討事項として、「地球温暖化防止に関する情報提供」が挙げられる。

市民アンケートにおける施策の「満足度」と「優先度」



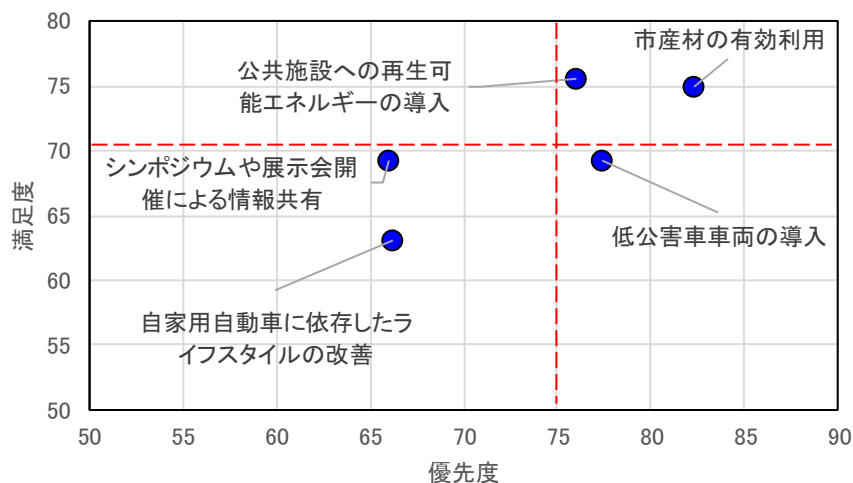
② 事業者アンケート

施策ごとの回答を数値化した結果は、下図のとおりとなっている。なお、図内の赤線は、全設問の回答を数値化したものの平均値を示し、「優先度」の平均は 74.2、「満足度」の平均は 70.2 となっている。

結果は、「公共施設での再生可能エネルギーの導入」、「市産材の有効利用」に関する事項が、「満足度」と「優先度」ともに高い値を示しており、これまでの取組みの結果が表れていると考えられる。一方、公用車更新の際の「低公害車車両の導入」は、「優先度」は平均より高いものの「満足度」が低くなっている。

以上のことより、施策の検討事項として、「低公害車車両の導入」が挙げられる。

事業者アンケートにおける施策の「満足度」と「優先度」



(4) まとめ

今回のアンケート調査は、市民アンケートの回収率が 29.0%と低く、事業者アンケートは回収率が 54.0%となっている。回収率が低かった要因として、地球温暖化問題に対する関心の低さがあると考えられる。

地球温暖化対策を推進するには、市民・事業者の関心の向上に努め、関心を高める取り組みを行うことが課題として挙げられる。

ア 市民アンケート

①集計結果

- ・18 歳以上の市民 1,000 人(無作為抽出)を対象としてアンケート調査を実施した結果、290 人(回収率 29.0%)の回答を得た。
- ・地球温暖化問題への関心は、「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」を併せた回答が 83.8%と高い割合であった。
- ・温室効果ガス削減の目標設定の望ましいあり方は、「実行可能な無理のない範囲で目標を設定する」計画重視型が、78.3%と高い割合であった。
- ・市民が思う地球温暖化防止のために市が優先的に取り組むべき事項は、「こどもたちに対する環境教育の推進」が 41.7%と最も高く、次いで、「森林の保全・整備」が 39.3%、「市産材の有効利用を促進する」が 34.5%であった。

②クロス集計結果

- ・年代ごとの地球温暖化問題への関心は、回答数のない 20 歳未満と 70 歳以上を除くと、「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」を合わせた割合は、60 代が 92.7%と最も高く、次いで 40 代が 87.7%、50 代が 83.8%となっており、上の年代ほど関心が高くなっている。
- ・地球温暖化問題への関心と省エネルギーへの取り組みは、関心があるほど省エネルギーへの取り組みを行っており、ほとんど取り組んでいない回答者の関心は低い結果となっている。
- ・地球温暖化問題への関心と地球温暖化防止に関する取り組みを進めるための情報は、「まったく関心がない」を除くと「生活に及ぼす影響・起きている現象・被害についての情報」の割合が最も高くなっている。一方、「原因・メカニズム」、「具体的な取り組みやその効果」の情報は、関心が高いほど高い割合となっており、「支援する制度」の情報は、関心が高い程低い割合となっている。
- ・省エネルギーへの取り組みは、地球温暖化問題に「非常に関心がある」方が取り組む割合が高く、関心を高める施策等を実施することが対策の実施割合を高める上で重要であると考えられる。

③施策の「満足度」と「優先度」

- ・これまでの市の取り組みの「満足度」と「優先度」は、「公共施設での再生可能エネルギーの導入」、「市産材の有効利用」、「こどもたちに対する環境学習・環境教育の充実」に関する事項がともに高くこれまでの取り組みの結果が表れていると考えられる。一方、「地球温暖化防止に関する情報提供」は、「優先度」は平均的であるものの「満足度」が低くなっている。以上のことより、地球温暖化対策実行計画における施策の検討事項として、「地球温暖化防止に関する情報提供」が挙げられる。

イ 事業者アンケート

①集計結果

- ・市内における100事業所(無作為抽出)を対象としてアンケート調査を実施した結果、54事業所(回収率54.0%)の回答を得た。
- ・事業所で採用(または採用を予定・計画)している「新エネルギー」や「革新的なエネルギー高度利用技術」は、「クリーンエネルギー自動車」が22.2%と最も高い割合を示し、次いで「太陽光発電」が7.4%であった。また、採用(または採用を予定・計画)している動機は、「経済的に成り立ち利益向上に繋がるため」が72.2%と最も高い割合を示し、次いで「企業イメージ向上のため」、「助成制度が活用できたから」が11.1%であった。
- ・温室効果ガス削減の目標設定の望ましいあり方は、「実行可能な無理のない範囲で目標を設定する」計画重視型が、74.1%と高い割合であった。
- ・事業者が思う地球温暖化防止のために市が優先的に取り組むべき事項は、「森林の保全・整備」が38.9%と最も高く、次いで、「市産材の有効利用を促進する」、「公共施設への再生可能エネルギーの導入」が35.2%、「公用車更新の際に、低公害車車両の導入を図る」が33.3%であった。

②クロス集計結果

- ・地球温暖化問題への関心と省エネルギー診断の受診と対策の実施状況は、「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した事業所の受診割合が高く、関心の高さが省エネルギー診断の受診や対策の実施に繋がっていることが推察される。
- ・「新エネルギー」や「革新的なエネルギー高度利用技術」を採用した動機は、「地球温暖化防止に貢献するため」、「経済的に成り立ち利益向上に繋がるため」の割合が高くなっており、さらなる導入促進には、新エネルギーや革新的なエネルギーの利用に関する重要性や経済性についての情報の提供が有効であると推察される。

③施策の「満足度」と「優先度」

- ・公共施設での再生可能エネルギーの導入、「市産材の有効利用」に関する事項が、「満足度」と「優先度」ともに高い値を示しており、これまでの取り組みの結果が表れていると考えられる。一方、公用車更新の際の「低公害車車両の導入」は、「優先度」は平均より高いが「満足度」が低くなっている。以上のことより、地球温暖化対策実行計画における施策の検討事項として、「低公害車車両の導入」が挙げられる。